

環境に優しいポリマー改質アスファルト



ECOバインダーシリーズ

ハياسG-ECO

HRバインダーECO

パーミバインダーECO

ECOバインダーシリーズは、ストレートアスファルトと同程度の温度設定でアスファルト混合物が製造できるプレミックスタイプのポリマー改質アスファルトです。

従来のポリマー改質アスファルトに比べて使用可能な温度領域が広く、低い温度で混合物を製造することができます。アスファルト混合物の製造に必要な燃料消費量を軽減できるため**二酸化炭素(CO₂)の排出量が削減**でき、地球環境の保全に貢献します。また、**交通開放までの時間短縮**や**施工性の改善**など多様な目的に適用できます。

ECOバインダーシリーズの特徴

- ① 使用温度領域が広く、従来より30℃程度低い温度で混合物の製造・施工が可能
- ② ポリマー改質アスファルトのバインダ規格に適合
- ③ 製造温度が下げられるため、骨材加熱時における燃料消費量や二酸化炭素排出量を削減
- ④ ポリマー改質アスファルトを用いた混合物性状が得られる



※写真は、サーモグラフィによる温度測定データを合成したものです。

ECOバインダーシリーズの用途

- 🚛 製造温度低減(燃料消費の低減によるCO₂の削減)
- 🚛 交通開放初期に発生するわだち掘れの抑制
- 🚛 再生骨材の配合割合の向上
あるいは施工性低下の改善
- 🚛 薄層舗装の締固め効率の向上
- 🚛 厚層施工時の交通開放までの時間短縮

ECOバインダーシリーズ のラインナップ

ハياسG-ECO
(ポリマー改質アスファルトⅠ型)

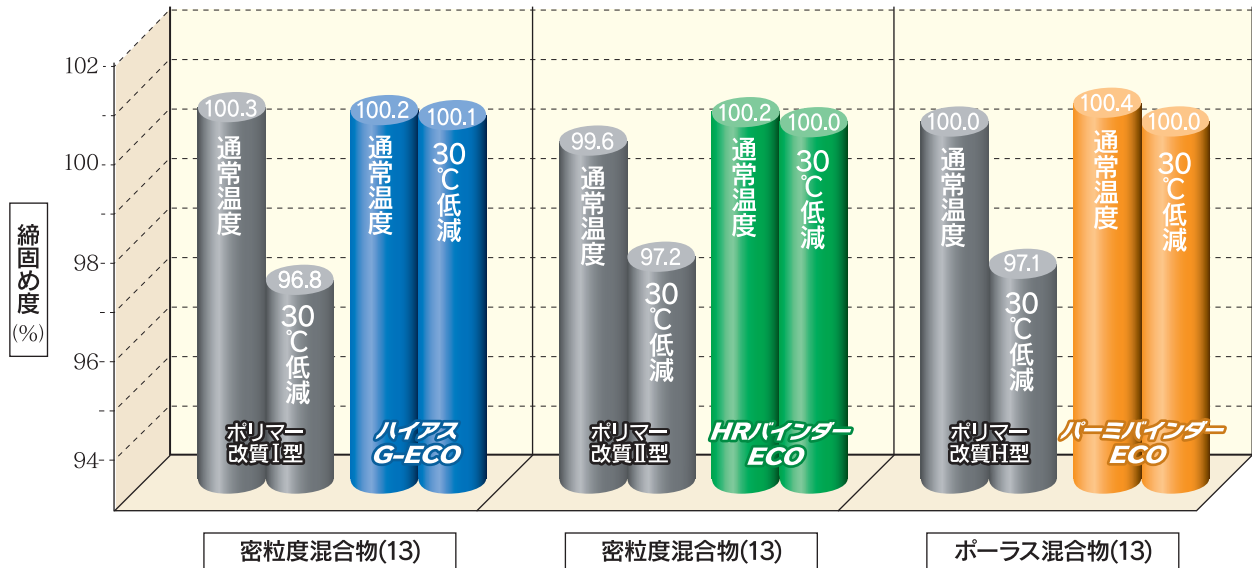
HRバインダーECO
(ポリマー改質アスファルトⅡ型)

パーミバインダーECO
(ポリマー改質アスファルトH型)



ECOバインダーシリーズの締固め特性の改善効果

ECOバインダーシリーズは、通常温度あるいは設定温度から30℃程度下げて締固めても所定の締固め度が得られます。



ECOバインダーシリーズの使用方法和混合物の施工

- 最適アスファルト量は、通常の配合設計法で得られる量とします。
- 再生骨材を混入するあるいは特殊な粒度の混合物とする場合は、室内試験により締固め特性を確認してから使用してください。
- 施工は、特別な場合を除き一般的な機械編成と施工方法で行ないます。

推奨する舗装管理温度

舗装管理温度	ハイクスG-ECO 【ポリマー改質Ⅰ型】	HRバインダーECO 【ポリマー改質Ⅱ型】	パーミバインダーECO 【ポリマー改質H型】
混合温度	130～185℃	135～185℃	135～185℃
敷きならし温度	120℃以上	120℃以上	120℃以上
初期転圧温度	110℃以上	110℃以上	110℃以上
二次転圧温度	90℃以上	90℃以上	70～90℃

※ECOバインダーシリーズはポリマー改質アスファルトⅢ型-WやH型-Fなどの特殊品にも対応します。
 ※ストレートアスファルトタイプにも対応します。(製品名「LCバインダーECO」)



東亜道路工業株式会社
<https://www.toadoro.co.jp>

